

発行日 平成26年10月31日
 発行 名古屋市造形教育研究会広報部
 タイトル 名古屋市立赤星小学校
 安田 拓之
 名造教ホームページアドレス
<http://www.meizoukyo.gr.jp>



おもしろいに出会う

名古屋市立柳小学校 特別支援学級

指導者 樋田 裕二

「なんだか元気な感じ。」「ぴかぴかしてる。」「そんな子どもたちの声が聞こえる。美術館で水玉模様の作品を鑑賞した経験から色に着目して活動を行っていった。「教室にあるものに模様をつけてみよう」と投げ掛けると子どもたちは、思い思いの形に切り取った黄色の紙を教室のオルガンにつけていった。どこかほつてりとし、重そうだったオルガンが、ぴかぴか元気なものに変わった。「今度はかえる滑り台に色をつけよう。」と学校のシンボルかえる型滑り台を、自分たちの色に変えていく。チェックだったり、おむすび型だったり、様々な形の紙を、かえるに貼り付けていった。どんどん変わっていくかえるに触れながら、みんながどんどん笑顔になっていく。「おもしろい!」と口にする子どもたち。自分の中のおもしろいに出会うことが、「つくる」ということなのだと思う。



これからの名古屋の造形教育を見据えて

名古屋市造形教育研究会

会長 赤尾 重雄



自分らしい表現へ

名古屋市造形研究会

委員長 佐藤 貴子



「みつめる つながる つくりだす」

今年度、名造研は研究テーマを改め、新しいスタートを切りました。

子どもたちが諸感覚を十分に働かせ、人やものと積極的に関わり合い、鑑賞と表現を繰り返しながら自分らしい表現を生み出していく姿をねらいとしました。

造形活動は、自分が表現したい対象や自分自身の感情をしっかりと「みつめる」ことから始まります。「みつめる」ことにより、これまでに自分が経験してきたことと材料・表現方法がつながり、表現への思いが膨らみます。また、作品を介して、人の思いと思いをつなげることもできます。

私たちは、子どもたちの瞳の中にあるものは何か、全ての感覚を働かせたとき感じ取るものは何か、つくりだす喜びを感じたとき身に付く造形の力は何かを、検証していきます。

年度末には小学校の、来年度末には中学校の今までの研究の成果をまとめたアイデア集を発刊する運びとなりました。また、平成31年度には愛知・名古屋で全国大会を開催することが決定しています。これらは、名古屋の造形教育のよさ・すばらしさを全国に発信するよい機会だととらえています。これらを実りのあるものにしていくためには、一人一人が、自分たちの足元をしっかりと見つめ、着実に力をつけていくことが大切だと思います。総会の折には、彦坂主任指導主事が「打ち上げ花火はいらぬ」と言われました。線香花火のように、派手ではなくとも見る人の心を魅了する、そんな実践・研究を積み重ねていくことができるような研究会でありたいと思います。

名造教会員、そして名造研委員のみなさんの全面的なご理解・ご協力をいただきながら、皆が一丸となって、名古屋の造形教育を今まで以上に発展させていくことを願っています。

夏の造形研修会

模擬授業と授業について語る会・造形教育講演会

今年度の夏の造形研修会は、名古屋市立若葉中学校において、模擬授業と授業について語る会、造形講演会が行われました。模擬授業では、名造研役員として活躍されている方々から、魅力ある題材や指導案していただきました。参加者は、児童・生徒として表現活動に取り組みながら授業を受け、子どもの広がりや、表現のつまずきなどを体感し、よりよい授業づくりの在り方を学びました。

造形教育講演会では、環太平洋大学教授の村上尚徳先生をお迎えしました。村上先生は、国立教育政策研究所教育課程研究センター開発部 教育課程調査官として、造形教育の第一人者としてご活躍されたことから、これからの図画工作・美術教育について熱く語られました。

多くの方々にご参加いただき、造形教育について見識を深める一日となりました。

模擬授業「すてきな形 つなげて 広げて」

小学校低学年

授業者：名古屋市立西前田小学校 教諭 河口 貴子

【ねらい】 画用紙に積極的に関わり、素材のよさを味わいながら、形を変えたり、組み合わせたりして、すきな形を見付ける。さらに仲間同士でつなげて、新しい形を見付ける。

【授業の様子】

①画用紙の形を変える。

T：紙の形を変える方法にはどんなものがあるかな？

C：「やぶる」「おる」「ねじる」「丸める」「しぼる」などなど…。

T：思いついた様々な方法で、実際に試してみよう。

C：子どもになりきって、板書されている様々な方法を試し、画用紙という素材の触感を味わっていた。

②形をつなげる。

T：試したものを友達とつなげてみよう。するとまた新しい形が見えてくるよ。

C：参加者同士がいろいろな方向から、つなげた形をみつめる。「恐竜みたい」「すてきなオブジェ」など、会話を楽しみながら見立てを楽しんでいた。



模擬授業「光を☆あてると」

小学校高学年

授業者：名古屋市立赤星小学校 教諭 安田 拓之

【ねらい】 白い画用紙を切る、折る、丸めるなどの技能を身につけたオブジェを暗闇の中に置き、懐中電灯の光を当てると影の色や形を「みつめて」、美しい形、面白い形を追求する。

【授業の様子】

①ふれて、ためして、つきつめてみつめる。

T：切ったり折ったり丸めたりした画用紙を日光に当て、その凹凸ができることを提示し、いろいろな形をつくらせ、案じた。





C：電灯の光を当てると、思いもよらない光と影の凹凸が現れることを楽しんでた。さらに、それを自分なりにコントロールし、意図した凹凸の演出ができるよう、光の当て方を変えたり、加工の仕方を工夫したりして表現を追求し続けていた。

②話しながらみんなでみつめる。

C：あちこちから「わー」という歓声が上がる。陰影により立体感を強調させた表現、紙の白と影の黒を融合させた表現など、互いの「意図した」表現を、みつめ合っていた。

模擬授業「画家の『思い』を感じることから」

学校

授業者：名古屋市立鳴海中学校 教諭 松岡 健児 先生

【い】 画家の作品を鑑賞し、形や色、その組み合わせによって、何が表現しようとしたのかを感じ取り、記述できるようにする。さらに、友達を感じ取り記述した内容にふさわしい表現を考え、色、その組み合わせによって表現できるようにする。

の様子】

ごとに異なる絵画を鑑賞し、ワークシートに記述する。

：形、色、構図、配色などに着目して、よく見よう。

：参加者は、その絵を「特徴づけている」形や色を探した。そして、その特徴的な形や色など、何を意図しているのか、自分なりに想像しながら記述していった。

ワークシートを交換し、友達を感じた「作者の思い」に寄り添い、で表現する。

：互いが感じ取った作者の表現意図を、簡単な線や色鉛筆で着色し、形に表すことで、作者の思いに寄り添い想像をふくらませていった。

家・自分・友達の表現の違いを感じ取る。

：「意図的」に物事を見て、必要な情報を取り込むことの大切さを意見交換から感じ取っていた。



演題「これからの図画工作・美術教育で大切にしたいこと」

形教育講演会

講師：環太平洋大学 教授 村上 尚徳 先生

先生は、義務教育の必修教科としての図画工作科・美術科について、将来の家庭生活・社会生活の中で力であり、そういった視点から見直していく必要があると話されました。ご自身で撮影した風景や動物画像も織り交ぜながら、教科の目標について具体的に分かりやすく解説され、感性を育むには言語活動の充実が大切であること、「言葉」と「体験」を関連させていくことが大事であると示されました。体験が豊かであれば、言葉が豊かになり、イメージが広がる。例えば「土」について、体験が豊かであると、土の性質を実感して、生かし方を考える力が培われる。そして素材と豊かに関わる力が養われる。また、「共通事項」や「造形遊び」についても留意点に触れられました。最後のまとめで、「美術は私を映す鏡だ。」という中学3年生の美術の授業の感想が紹介されました。「教育には、その年代に必要な学習やその年代にならないとできない学習がある。」という村上先生の言葉が印象深く残りました。



明日の授業に生きる実践

平成25年度 名古屋市教育研究員 鳴海小 柿崎 丈史

試行錯誤を重ねてイメージをつくり、よりよい表現を追求する造形活動

◆指導の重点 材料の組み合わせや仕組みの動きを試し、表現したいもののイメージをもつ場や、自分や友達の表現のよさを収集・共有・活用するイメージを練り上げる場を取り入れた。

◆題材について 「ワクワク〇〇コースター」(小6)

透明な材料の形に着目させ、その上や中をビー玉が転がる様子を試し、組み合わせを変えたりしながらビー玉の面白い転がり方を見付けさせる。さらに、作品に込めたいテーマを設定し、テーマが作品に表れるように材料の組み合わせや仕組みを工夫して表現する。

◆学習の展開

1 集めた材料の上や中をビー玉がどのように転がるのか試し、つくりたいコースターのイメージをもつ。

ビー玉の動きが面白いから動画で記録しておこう!

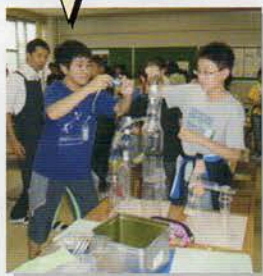


もう少し、スムーズに転がるように、角度を調整してみよう。

2 材料の組み合わせや転がり方を試しながら製作する。

製作と鑑賞の
繰り返し

3 友達の表現のよさをデジタルカメラで撮影し、自分の作品に生かす。



コースが枝分かれしていて、迷路みたいになっているね。

4 コースターを鑑賞し合いながら、作品に込められたよさを味わう。



アートインフォメーション

第36回 姉妹・友好都市児童生徒書画展
第58回 名古屋市児童生徒作品展

期間：平成26年
11月19日(水)～24日(月)
会場：名古屋市博物館

第59回 名古屋市教員美術展

期間：平成27年
1月28日(水)～2月1日(日)
会場：名古屋市博物館

名古屋市造形教育研究会
ホームページをクリックしてください!

<http://www.meizoukyo.gr.jp/>

名古屋市造形教育研究会(名造教)では、ホームページを公開しています。名造教について、会長挨拶、会員相互の親睦・交流など、名造教の1年を追って、その活動を紹介していく内容になっています。また、子どもギャラリーも設置し、児童や生徒の作品を通して、若い先生の思いのこもった指導も紹介しています。ぜひ「名造教」のホームページを定期的にご覧ください!

検索エンジンで「^{めい} ^{そう} ^{きょう}名造教」で検索するとすぐに出ます! ご覧ください!